

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2011
平成23年

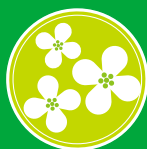
7.15

海が呼んでいるよ!

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
ちはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 広報サポーターカメラリポート……………3ページ
- 地域の話題(清田校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

みどころいっぱい

初立池公園「しょうぶ園」

市民発!

皆さんこんにちは。広報サポーターの鈴木理絵です。今回は、私のお気に入りの観光スポットの一つである初立池公園「しょうぶ園」をご紹介します。



鈴木理絵



●初立池(堀切町)

豊川用水の最終貯水池としての役割を果たすダム。豊川用水はここから100kmほど上流の鳳来寺山などを水源として、東三河地方の干ばつや慢性的な水不足を解消するため整備され、昭和43年に全面通水しました。最大貯水量1,600千㎡。

棚田から「しょうぶ園」に

初立池のしょうぶ園は、湖畔に3か所あります。昔からあった棚田を活用し、景観美化のため平成7年から花しょうぶを栽培するようになったそうです。見た目に趣があり、しょうぶ園には遊歩道も造られているので、花しょうぶをより近くで鑑賞することができます。今年、株分けが進み、江戸系・肥後系・伊勢系の花しょうぶを合わせると、1万6720株が植えられています。

私が訪れた6月15日(水)、しょうぶ園には「花しょうぶ」と書かれた紫色ののぼりが立ち、ちょうど見ごろを迎えていました。3種の花しょうぶが色違いに植えられており、その様子を棚田の一番上から見たときは壮観で感動しました。花の



▲咲き競う花しょうぶ

一輪一輪も優雅で、それらをじっくり鑑賞しようと散策していると、思わず時を忘れてしまいそうになったくらいです。このすばらしい景色を、もっと多くの人にも見てもらいたいと思いました。

※江戸系…風雨に強く草丈が高い。平咲きが多い。

肥後系…花は大輪で花弁は広く重なり、ゆつたりと垂れている。
伊勢系…花弁が垂れた三英咲きが基本で、草丈は低い。

キレイに咲かせる秘訣とは

花しょうぶの手入れをしているシルバー人材センターの方々に、キレイに咲かせる秘訣についてお話を伺いました。

初立池の花しょうぶは、豊橋の賀茂菖蒲園から株分けしてもらったり、初立池でも株分けをしたりして増やしてきたそうです。株分けとは、親株の脇から生えてきた株を根ごと切り離して別に植える繁殖方法です。株が大きくなりすぎると老化してしまつて大きな花が咲かなくなるのだとか。株分けを成長期初めの早春に行い、株に与えるダメージを少なくすることにより、大輪の花が咲くのだと教えていただきました。

「株分けや花がら摘み、草取りなど全て手作業で行うので大変だけど、今年の花しょうぶは、今まででも1、2を競うほどのいい出来です」と話すシルバー人材センターの方の笑顔が印象的でした。



▲心を込めて育てているシルバー人材センターの皆さん

季節のみどころ紹介

初立池周辺は、「初立池公園」として親水デッキや遊歩道が整備されていて、憩いの場としてオススメです。春にはサクラ、初夏には花しょうぶやアジサイが咲き、冬には飛来する水鳥などを楽しむことができます。

また今年は、花しょうぶの咲く季節が終わっても、初立池公園で季節の花を楽しんでもらえるようにと、棚田の周りにヒマワリの種をまいたそうです。夏にはまた棚田の一番上に立ち、満開のヒマワリを眺めに行こうと思います。皆さんも、ぜひ初立池を訪れてみてください。

みどころ フォトレポート



●アジサイ



●親水広場



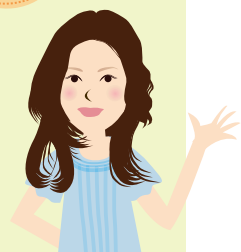
●カモ



●サクラ

広報サポーター カメラリポート

*心を潤すアジサイ



河合

ケアハウスパシフィック（南神戸町の老人ホーム）のアジサイは、植えられてから17年が経つそうです。背が高く大きな花弁を付けたアジサイは輝いて見え、施設長が自ら水やりをしているとのことと、とても大事に育てられていることが伝わってきました。

敷地内のコミュニティスペースでは、年間を通じてイベントが行われており、これからの季節は「納涼ビアガーデン」が開かれるのだそうです。一般の方が利用可能な喫茶もあり、緑に囲まれたベランダを見ると太平洋を望むことができます。利用者の方々が続々と集まって来て、とても心地良さそうに過ごしていました。





▲川に竹炭を設置して水を浄化



▲免々田川で乱舞するゲンジボタル(見ごろは毎年5月末～6月初め)

地域の話題

清田校区

まちを育てる取り組み

地域の「宝物」を大切にしながら、住民相互の信頼と連帯感を高めている清田校区。ゲンジボタルの保護活動について、お便りが届きました。

地域発

清 田校区では、「豊かな自然環境・みんなに愛される地域・みんなで人づくり」を将来像に、地域づくりを進めている。

ゲンジボタルに託す夢

免々田川に生息しているゲンジボタルは、地域の宝の一つである。校区では、ホタルが飛び交う昔の情景を取り戻そうと、川の清掃や水質改善に取り組んでいる。幸いにも、流域に州ができており、ホタルの幼虫が蛹になれる場所が自然に確保されている。

竹炭による川の浄化

里山を荒らす原因となっている孟宗竹。それを竹炭にして川に設置し、水の浄化に有効活用している。



▲小学生も竹炭づくりに挑戦

平成19年3月に、約750kgの竹炭を川の8か所に設置して以来、毎年3月に新しい竹炭と取り替えている。

「ホタルが舞うまちはみんなの願い」をテーマに、観察会とあわせて小学生にも竹炭づくりを体験してもらっている。環境について考える心が育つことを期待している。

2kmにおよぶ幻想的な灯り

川面を飛び交うゲンジボタルの数は年々増加し、生息域も下流に広がり、鑑賞者も増えてきた。今年は、市のホームページに掲載してもらったり、訪れる人の車を渥美支所の駐車場に誘導したりした。

渥美支所からの鑑賞コースには、清田・福江まちづくり推進協議会のメンバーが中心となって灯籠を約80本設置した。ホタルの光とともに幻想的な灯りを醸し出し、自然の豊かさを実感できたと思う。

豊かな自然の証、各地へ発信

免々田川のゲンジボタルは市外にも知られている。ホタルの観賞を宿泊プランにしているところもある。また、岡崎市の方から、次のようなコメントをいただいた。

「免々田川のように約2kmの川面に無数のホタルが乱舞している所は他にみることができない。来るたびに感動している。」

これからも、自然を愛し、自然と共に生きる地域づくりに取り組んでいきたい。

(清田地域環境保全会)

会長 木村春雄



市民活動を応援するページ



市民活動レポート

あつみNPOネットワーク

ATSUMI
NPO
NETWORK

講座「人に寄り添うこと 話を聴くことの意味」

～いま、わたしたちができる「こころ」のケアについて～

● H23田原市市民協働まちづくり事業補助金採択事業



東日本大震災から、ちょうど3か月目となった6月11日（土）、今まさに、私たちに必要な「こころ」のケアについて学ぶ講座が行われましたので、ご紹介します。

会場となった渥美文化会館の大会議室を訪れると、定員30名の倍となる60名の参加者で満員でした。講師は、臨床心理士として活躍している愛知大学文学部准教授の鎌倉利光先生で、楽しく和やかに講座が進んでいきました。

講座では、「こころ」のケアに必要な「傾聴」を中心に話されました。「傾聴」とは、「語ること」と「聴くこと」が対等であることを認識し、人に

寄り添いじっくり話を聴くことであると知りました。そして、重要なこととして、“無条件に肯定すること”“共感理解すること”“自分の状態を受容し聴くこと”などを学びました。

最後に、詩人・金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」が紹介され、「みんなちがって、みんないい」という言葉のように、人それぞれ良さがあるということを心に刻み、講座は終了しました。

イベントのお知らせ **「あつみNPOの集い」** H24/2/5日・渥美文化会館

連絡先 あつみNPOネットワーク 代表：森下静子 ☎FAX 32局3963 ✉violin0620@tees.jp

市民
提案

市の事業を受託してみませんか？

自由なテーマで提案してみよう！「市民提案型委託制度」

「市民提案型委託制度」は、行政が実施すべき性質の市民サービスや管理業務などについて、効果的な事業を提案した団体が、市と委託契約を結ぶものです。今回は、自由なテーマで市民提案が募集されます。市の施策の推進が期待できる内容の事業提案について、事業の担当課と役割分担などを協議し、調整が整った場合に予算計上され、平成24年度に事業を実施することになります。

●募集期間 7月1日金～8月31日金

●対象事業 市の施策が推進される事業で、平成24年度内に実施・完了するもの

●対象団体 主に市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体

●応募方法 市民協働課で配布する提案用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出。提案用紙は市ホームページからもダウンロード可 (<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

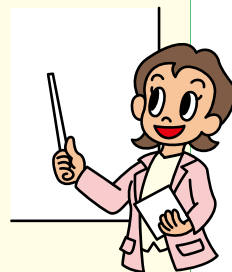
●審査方法 応募団体による担当課への提案内容説明で審査し、協働候補事業を選定

※事業内容の協議が整った場合でも、予算編成の都合上、事業費の削減や次年度へ繰り延べされる場合があります。

●スケジュール

	H23.9	H23.10	～H24.3	H24.4～	～H25.2	H25.3
提案募集	審査・協議	予算要求	担当課・関係課で 予算調整	予算確定	契約締結 各団体で事業実施	事業完了 確認・支払

●応募・問い合わせ先 市民協働課 ☎23局3504 FAX 23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局1111（内線812）※ 開設時間のみ FAX 23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 36
 学校生活の一コマ
 を紹介

今回は、全校で楽しんだ七夕集会の様子と、スローガンを掲げ取り組む生徒会活動の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679



高松小学校「七夕集会」

守りたい伝統行事「全校で星に願いを！」

高松小学校では、毎年、七夕にあわせて、児童会が中心となり七夕集会を行っています。今年は7月6日(水)の朝の集会で開催しました。

まず初めに、児童会役員が七夕にまつわる彦星と織姫の寸劇を披露しました。子どもたちは、役員それぞれのキャラクターを生かした寸劇を楽しんでいました。その後、低学年と高学年に分かれ、笹に一人ひとりの願いを書いた短冊と手作りの笹飾りを結びました。短冊をつるした2本の笹を学校の玄関に立て、願いをかなえるよう努力する子どもたちの励みにしています。1年生も一生懸命書いていました。

- アサガオがいっぱい咲きますように(男子)
- ひらがなが上手になりますように(男子)
- みんなのために役に立つことをしたいな(女子)

季節の伝統行事として、これからも残していきたい集会です。



●彦星と織姫の寸劇は大人気！



●笹に願いごとを書いた短冊を結びます



●試合を終えて笑顔で握手！



●校門の前で笑顔であいさつ

泉中学校「生徒会活動」

『みんなで輝け！』笑顔あふれる学校に！



泉中学校では、毎年、生徒会が活動のスローガンを掲げています。今年のスローガン『みんなで輝け！』には、「みんな一緒に、楽しく、笑顔で過ごせる学校にしたい！」という生徒会役員の願いが込められています。

毎年、4月下旬に行っている新入生歓迎球技大会では、今年は生徒間の親睦を深めようと、試合が終わるごとに「握手交流」を行いました。これは、今回初めて取り入れた活動でしたが、みんなさわやかな笑顔で交流することができていました。

また、月曜日の朝には、生徒会役員が中心となり、あいさつ運動を行っています。「おはようございます！」と、役員から元気よく声をかけると、生徒からは笑顔であいさつが返ってきます。

生徒会活動や行事などを通して、「笑顔」や「あいさつの輪」がどんどん広がり、生徒だけでなく職員も「いつも笑顔で輝いている学校、になることを目指しています。

6月18日(土)

踊る探究心！
ちびっこ発明家



▲講師にペットボトル空気砲の作り方を教わる児童たち

田原市少年少女発明クラブが田原福祉センターで開催され、市内の小学5・6年生24名が参加しました。このクラブは、子どもたちに科学への関心を深めてもらおうと、今年度、市教育委員会と発明協会の共催により発足。年12回の講座で、工夫する楽しさを学びます。

6月18日(土)

見て触れて
東三河を知る



▲蔵王山のトレッキングコース沿で生育する植物を眺める参加者たち

東三河生涯学習連携講座「健康ウォーキング〜歩いて知る東三河の自然と史跡〜」が蔵王山で開催され、市内外から20名が参加しました。地域の魅力を歩いて知ろうと、東三河7市町で企画されたこの催し。参加者は、初夏の蔵王山や権現の森の自然を満喫しました。

6月22日(水)

二代目の匠^{たくみ}
内閣総理大臣賞！



▲受賞した「組子屏風」の写真を手手に、作品について説明する川口さん(写真右)
※作品は8月17日(水)～9月30日(金)に、渥美郷土資料館に展示

第45回全国建具展示会で内閣総理大臣賞を受賞(史上初の親子2代での受賞)した建具職人の川口博敬^{ひろゆき}さん(小中山町)が、田原市長を表敬訪問しました。川口さんは、「8か月間、すべての時間を制作に費やした。3度目の挑戦で、念願がかなった」と受賞の喜びを語りました。

広がる未来へ

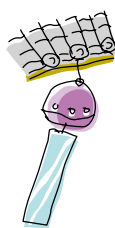
たはらエコ・ガーデンシティ構想

●ピーク時は工夫を重ねて節電を！ たはら節電大作戦／電力ピークカット

震災の影響により、この夏は電力不足が心配されています。電力需要がピークとなる7月から9月の月・火・水曜日（木・金曜日は大手企業が休業）の午後1時から4時までの電力使用量を減らすため、節電に取り組みましょう。

♥家庭での作戦

●打ち水を実践



玄関先や庭など屋外に水をまく打ち水は、地面の熱をうばうため、室内に入ってくる風を涼しくします。気温の高い昼よりも、早朝や夕方の方が効果大。水道水を使わず、風呂の残り湯や雨水を利用しましょう。

●田原文化会館や中央図書館などの「街なか避暑地」を利用

多くの利用者が見込める公共施設を利用することで、冷房の効果を共有しましょう。

●早朝に野球場やテニスコートなどの屋外スポーツ施設を利用

早寝早起きは、夜の消費電力を抑えることになり節電につながります。

♥学校での作戦

●節電プログラム「エコでニコニコ大作戦」を小中学校で実施

児童・生徒や教職員が協力して節電の取り組みを行い、節電できた電気料金の全額分を希望物品（環境教育物品・運動用品・図書）としてその学校に還元します。取り組みを実施することで、節電の意識が定着します。

♥市役所での作戦

田原市役所本庁舎では、電気使用量のピークカットを推進します。消費電力総量についても、前年度比15%の削減を目指します。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数 個人1428人 事業所69か所（6月末現在）

▼エコエネ推進室

☎ 23局 7401 FAX 23局 0180



省資源とリサイクル

けいじばん 39



ゴミゴミとリサイクルランジャ

今回はごみを出すときに気をつけてほしいことについてお知らせします。次のことに注意して出してください。

◆もやせるごみ

生ごみはしっかり水切りをし、金属などもやせないものは取り外してください。

◆もやせないごみ

長辺の長さが40cm以上のものは粗大ごみです。直接各センターに搬入してください。
※傘や杖などは、もやせないごみで出せます。

◆プラスチック容器類、トレイ

中身を出して、すすいでから乾かしてください。

◆ペットボトル



中身を出して、すすいでから乾かし、つぶしてください。
※ふたはプラスチック容器類へ出しましょう。

◆缶（アルミ、スチール）

中身を出して、すすいでから乾かしてください。スプレー缶には穴をあけてください。

◆びん

中身を出して、すすいでから乾かしてください。ふたは金属もやせないごみなどに分別して出してください。

◆紙類

異物を取り除いて、種類ごとに分けてひもで縛ってください。

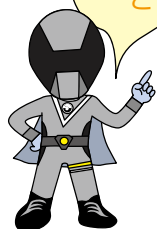
◆布類

異物を取り除いて、なるべく洗濯をし、ひもで縛るか、緑色の指定袋に入れてください。

◆小物金属

金属以外のものを取り外せるものは取り外してください。

ごみの分別にご協力ください。



▼清掃管理課

☎ 23局 3538 FAX 23局 0180

交 流 通 信



このコーナーでは、田原市の国内外の交流事業や多文化共生事業の情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

姉妹・友好都市で避暑はいかが？

避暑にはぴったりの田原市の姉妹・友好都市のお出かけスポットをご紹介します。

●涼しいところへでかけて「節電」

浜岡原子力発電所の停止に伴い、特に7月～9月の期間、月～水曜日の午後1時～4時の節電（ピーカット）が求められています。消費電力の大きいエアコンの使用を抑えるためにも、涼しいところへ出かけませんか。田原市の国内の姉妹・友好都市は、山や川などの自然が豊かで、避暑にはぴったりです。

◆北設楽郡設楽町（姉妹都市）

◎グリーンメッセージ

標高約850mの津具高原にあるペンションで、田原市の施設です。夏はエアコンがいないほど涼しく、窓を開けて寝ると、少し肌寒く感じるほどです。隣接する道の駅グリーンパークでは、浅い川での水遊びやマスのつかみ取りが楽しめます。



◆長野県上伊那郡宮田村（友好都市）

◎こもれ陽の径

清流「黒川」に沿って続く、美しい緑の小道です。黒川には、中央アルプスからの雪解け水や湧き水が流れ、涼風が吹き抜けます。小道の先にある「こまゆき荘」で、天然温泉と地ビールを楽しんでみてはいかがですか。



▲涼しげな清流「黒川」

◆長野県下伊那郡阿南町（友好都市）

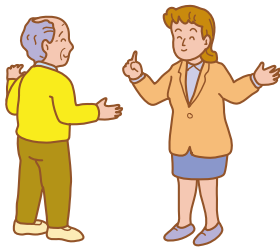
◎かじかの湯

天然温泉をはじめ、大型コテージ、テントサイト、陶芸体験施設があります。施設内には子どもの川遊びにぴったりの清流が流れ、夜には、満天の星空を眺めることができます。



▲大型コテージ

災害時の支援活動をスムーズにするためには、日ごろから、災害時要援護者とコミュニケーションをとることが大切です。また、避難の際には、声を掛け合い、地域で協力し合って、一緒に避難するようにしましょう。



◆災害時要援護者への心配りを

今回は、災害時要援護者や、その周りの方の日ごろの備えについて、ご紹介します。

みんなで取り組む防災・減災

「けんちゃん」
『災害時要援護者』をご存じですか？

3



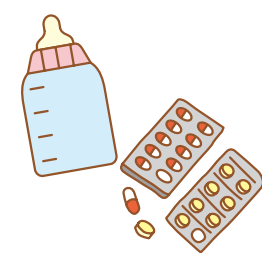
◆災害時要援護者は

日ごろから備えをしっかりと

●乳幼児のいる家庭では、ミルクやほ乳びん、離乳食、おむつなどを準備しておきましょう。

●高齢の方や障害がある方で、常用薬や補助具（装具）、かかりつけ医療機関がある方は、それらのメモ書きやお薬手帳を準備しておきましょう。また、災害が発生したときや通院できなくなった場合に備え、常用薬の蓄えや医療的な対処法を主治医に相談しておきましょう。

●周囲の人に、自分は手助けが必要なることを知ってもらい、あらかじめ手助けを頼んでおきましょう。



▼防災対策課 ☎ 23局3548



募集

生涯学習情報誌への広告

田原市教育委員
会では、自主財源
の確保と市民サー
ビスの向上を目的
に、生涯学習情報
誌（平成23年度下
半期）への有料広告を募集します。



▼募集枠数 10枠 ▼掲載場所 生涯学習情報誌（平成23年度下半期）の裏表紙／発行部数2万2000部 ▼広告のサイズおよび掲載料 1種広告 縦4.5cm×横8.5cm、裏表紙1枠1万5000円ほか

▼申し込み 8月15日（月）までに申込書に必要事項を記入し、署名・押印したものに広告原稿、会社概要などを添付して直接持参 ▼その他 申し込みの際には、要綱・要領などの内容をご確認ください。（申込書および要綱などについては、田原市教育委員会ホームページからダウンロード可） ※詳しくはお問い合わせください。

▼生涯学習課

☎ 23局3531 FAX 22局3811

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/section/kyoiku/>

愛知県史を語る会

愛知県史「別編 民俗1 総説」の執筆担当者が、愛知の民俗について分かりやすく説明します。

▼日時 8月27日（土）午後1時～4時30分 ▼場所 愛知県図書館5階大会議室 ▼講演内容 地域・伝統・都市・県史でとらえた愛知の民俗

▼講師 岩井宏實氏（帝塚山大学名誉教授）／伊藤良吉氏（日本民俗学会会員）／伊東久之氏（岐阜大学教授）／服部誠氏（愛知県立旭丘高等学校教諭） ▼定員 200名 ▼参加料 無料 ▼申し込み

名

電話にて ▼その他 駐車場は有料です。台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。 ▼愛知県総務部法務文書課県史編さん室

☎ (052) 972局9173

生活

交通渋滞のお知らせ

企業の土・日曜日の操業などにより、次の期間および時間帯で交通渋滞が発生しやすくなりますので、ご理解をお願いいたします。 浜松方面へお出かけの際は、国道42号（推奨ルート）が便利です。



▼期間 7月～9月末（土・日曜日） ▼時間 午後4時～6時 ▼区間 ①三河港大橋～国道23号バイパス②豊島北～国道23号バイパス大崎西・東インター ▼企業立地推進室 ☎ 23局3549

婚活

ステキな出会いをサポートする「恋サポメール」の配信を開始

田原市社会福祉協議会「ふれあい相談センター」が開催する婚活（恋活）などのイベント情報や応援会員として登録していただいた企業・団体・お店などが企画・実施するイベント情報を、携帯電話やパソコンにお届けします。ぜひご利用ください。

登録の方法

①田原市ホームページの「くらしのガイド」→「暮らし」→「結婚支援」にアクセスし案内に従い登録

②携帯電話からカメラ付携帯で、QRコードを読み取るか、登録用メールアドレスを入力して空メールを送信し、案内に従い登録

●登録用メールアドレス

✉ tahara.koisapo@tofa.jp

▼登録料 無料（通信料金は除く） ※詳しくは市ホームページをご覧ください。

▼福祉課

☎ 23局3512 FAX 23局3545

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



▲QRコード



交通公園で 夏季交通安全教室を開催

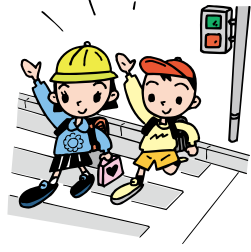
交通公園（谷熊町）は、楽しく交通ルールを学べる公園です。夏休み中は、土、日曜日の利用に加えて木、金曜日を開園し、交通安全教室を開催します。

交通ルールをしつかり身につけ、事故にあわないようにしましょう。



▼期間 7月21日（木）～8月26日（金）の期間の毎週木、金曜日

※ただし8月12日（金）は除く。また雨天の場合は中止 ▼時間 午前10時～11時（受付は午前9時55分まで） ▼対象 小学生、園児 ▼定員 25名程度 ▼その他 事前の申し込みは不要です。午前9時～正午までの間で、交通安全教室を開催していない時間は、通常の開園日と同様に利用していただけます。



▼市民協働課
23局3504 FAX 23局0180

堆肥散布による悪臭などの 発生防止にご協力を

夏場は、農地へのたい肥散布の時期です。堆肥を散布すると、近隣の住宅や観光施設などから悪臭やハエなどの苦情が寄せられることがあります。堆肥を使用する場合は、次の点に注意して、生活環境の保全と水質汚濁などの防止にご協力をお願いします。

●悪臭が発生するような堆肥を使用せず、十分発酵させ悪臭を伴わない堆肥（完熟堆肥）を使用しましょう。

●農地に搬入した堆肥は、すぐに鋤き込みましょう。搬入後、雨天により鋤き込みできないことのないよう、天候に注意しましょう。

●特に住居や観光施設に近い農地に施肥する場合は、生活環境に十分配慮し、悪臭、粉じん、ハエなどの害虫や汚水が発生しないようにしましょう。

●地下水汚染の原因にもなる、過剰な堆肥投入はやめましょう。

▼農政課

23局3517 FAX 22局3817

▼環境衛生課

23局3541 FAX 23局0180

7月25日（月）から 新田原警察署で業務開始

田原警察署新庁舎完成に伴い、7月25日（月）から新庁舎での業務を開始します。免許更新事務も併せて開始する予定ですが、免許更新の種類により日程などが異なる場合があります。詳しくは、お問い合わせください。



▼田原警察署交通課 23局0110

自衛官制度説明会

平成23年度自衛官採用に伴い、希望者に対し、制度説明会を開催します。進学または就職をお考えの方、または自衛隊に関心のある方はお気軽にお越しください。

▼対象 平成23年度に18～26歳になる方（父兄同伴可） ▼日時 8月6日（土）午前10時～午後4時（随時、個別説明） ▼場所 田原文化会館101会議室

▼自衛隊豊橋地域事務所

23局2693

☒ aichi.pco.toyohashi@rct.gsdf.mod.go.jp

夏の安全なまちづくり県民運動 8月1日（月）～10日（水）

この運動は、地域の皆さんと防犯協会、警察が協力し合い、皆さんの身の回りに危険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を行うものです。

8月は、夏休みや長期休暇などで開放的な気分になり、身の回りに潜む危険を見落としがちな時期です。また、ラジオ体操や盆踊りなどの地域行事も行われ、地域連帯を強めていくことができる時期でもあります。

皆さん、地域ぐるみで防犯活動を行い、安心して暮らせるまちを目指しましょう。

運動の重点

- 子どもや女性が被害者となりやすい犯罪の防止
- 住宅を対象とする侵入盗の防止
- 自動車盗および自動車関連窃盗の防止
- 年間取り組み事項
振り込め詐欺の被害防止



▼市民協働課

23局3504 FAX 23局0180

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
124



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

伝説の島 姫島①

三河湾に浮かぶ田原市唯一の島、姫島。市民の皆さんは、遠くからの優雅な姿に目をとめていても、訪れたことはない方が多いと思います。

島に平地はほとんどなく、高さは62・1m、島の周囲は約4kmです。九州にも同じ名前の島があり、日本各地に同じ地名などがあります。なんととっても名前が良いですね。いづから姫島と呼ぶようになったのかは分かりませんが、江戸時代には飛

馬島と呼ばれていました。このような島ですので、いろいろな伝説があります。今回はそれらの伝説をご紹介します。

●でらぼっち(だいだらぼっち)伝説

大男が姫島と笠山を担いでいて、それを降ろして休憩しました。その時、つまずいてひざを付いた跡が芦ヶ池、汚れた足を太平洋で洗うために腰掛けたのが蔵王山といわれています。この大男、だいだらぼっちを題材にした伝説

は日本各地にあります。この地方では「でらぼっち」ともいわれています。また、大男を「弁慶」とする話もあります。

●倭姫伝説

今から2000年ほど前、当時、流行った疫病を鎮めるため、倭姫は天照大神を祭る地を探し諸国を巡っていました。船旅の途中、姫島に寄



●姫島

り、倭姫はこの島に滞在し、蚕を飼いい、その飼育方法を伝えたといいます。姫はここで亡くなりましたが、今でも蚕のエサとなる桑の木や井戸、お墓があると伝えられています。このお供だった伊勢の山田氏や小林氏が片浜の人たちの祖先で、村に山田と小林姓が多いのはこのためだといわれています。

また倭姫は、姫島に嵐で流されたという説もあります。一行を乗せた舟は伊良湖水道で暴風雨にあい、梶が折れて流されましたが、ある岬の陰で風をしのぎ命拾いをしました。この岬のことを梶ヶ崎(野田町馬草港の小山)といわれています。さらに、一向は潮に流され、姫島に流れ着きました。しばらくここに滞在し、舟を直し仁崎に渡りました。これは、天照大神をお祭りする場所の候補地として目を付けたからです。しかし適当な場所ではなかったため、世話になった村人たちへのお礼に、村の中を流れる川の名として、伊勢神宮の内宮前を流れる神聖な川、五十鈴川の名前を贈ったといわれています。

だいだらぼっちの伝説は考えられ

ないですが、倭姫の伝説の中には、姫島の名前の由来を説明する魅力的なものがあります。この伝説を証明するために、大正時代に倭姫の古墳を探そうと、畠神社の神官が調査を行いました。倭姫の古墳はおろか、普通の古墳の存在も確認されなかったようです。

※倭姫は、垂仁天皇の第4皇女で、日本武尊の叔母にあたり、伊勢の地に皇大神宮を祭った人といわれる伝説上の人です。また姫島は、江戸時代の地理書には、源頼朝が奉納した御馬の神社(豊川市御津町)の神馬が逃げ出し、海を泳ぎこの島に来たという話から、飛馬島とも呼ぶそうです。

(増山)

今月の「表紙」

▼蔵王山の向こうに見える
た入道雲に誘われ白谷海岸へ。そこに広がっているのは、青い空に青い海、まさに
常夏の風景でした。その暑さに惑
わされたのか、広報たはらクイズ
7月号の答えが、意味不明な言葉
になってしまい申し訳ありません
でした。今回は、ご応募いた
いた方は全員正解とします。(〇)

【表紙の写真】白谷海水浴場